

平成29年度

<薬剤師生涯研修の広場>

仙台市薬剤師会学術研修会開催のご案内

(日本薬剤師研修センター研修シール1単位認定)

謹啓 初冬の候、先生方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、認知症対応薬局・薬剤師のための平成29年度学術研修会を下記要領にて開催いたします。ご多忙中と存じますが万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時 平成30年1月27日(土) 15:00~18:00

会 場 TKPガーデンシティ仙台勾当台(せんだいこうとうだい)
仙台パークビル2階 ホール2
仙台市青葉区国分町3-6-1 TEL:022-200-2613

講 演 15:15~17:45

座長 (一社) 仙台市薬剤師会理事

『エビデンスに基づく医療は本当に患者の満足感を向上させることができるのでしょうか？

～患者からの同意書をとれる服薬指導の新しいあり方を考える～』

ファーマシューティカルケア研究所所長 中原 保裕 先生

主 催 (一社) 仙台市薬剤師会

☆ 仙台市薬剤師会の単独主催ですので、軽食の準備はしていません。

☆ 仙台市薬剤師会非会員の方は参加費1人2000円のご協力をお願い申し上げます。

☆ 満席になった場合は会員優先とします。事前申込者は15時半までに入場して下さい。
15時半 以降来場された方は研修シールを配布できません。

(中原 保裕 先生用)

平成 29 年度 仙台市薬剤師会学術研修会

中原先生の思い:『エビデンスに基づく薬物療法の導入は、それまで実施されてきた治療経験から個人が導きだしてきた‘良いと思われる’薬物療法のあり方に警鐘をならした。特に薬物を扱うことに監視役的立場にある薬剤師たちはこれを支持する者は少なくない。

私は薬物療法の質的向上と無駄な医療費削減の観点からはこれを支持する側の人間といえる。しかし、この考え方に基づく服薬指導ははたして患者サイドからみるとどのように受け止めているのだろうか。今国民は日本の医療になにを求めているかを考慮すると、エビデンスに基づく医療は今や適切な考え方とはいえないことに気づくのです。ではどうすることが良いかを考えてみることにしましょう。

講演に先立ち、事前の質問をお受けいたしますので、ご協力をお願い致します。

○ 講演について講師にお伺いしたいことがあればご記入下さい。

☆ ご出席・ご欠席の返信を **1月19日(金)** までをお願いします。

☆ 出席者の人数、氏名をご記入の上、必ず FAX にて下記あてにご連絡をお願いします。
講演終了後に、講師を囲む会（会費 4 千円ぐらい）を開く予定です。参加する方は出席者名の後ろに「囲む会」と記してください！

☆ 会場スペース（180 名）の関係上、事前にご出席の連絡がない方は、満席の場合入場できないこともあります。出席を取り消される場合も連絡をお願いします。

☆ 出席の連絡先 日医工株式会社 仙台支店 アドバイザー 高橋 将喜

FAX 番号 022-208-8181

問い合わせ先：(090-3904-3927)

.....
貴薬局・病院名 _____ ・ 在宅

所属ブロック (○で囲んでください)： 青葉区・泉区・宮城野区・若林区・太白区・ 他

ご連絡先電話番号 _____

ご出席 人数 () 名

会員氏名 _____ 非会員氏名 (仙台市薬剤師会会員証のない方)

